

海溝型地震 長期評価

凡例

- Sランク (高い) : 30年以内の地震発生確率が26%以上
- Aランク (やや高い) : 30年以内の地震発生確率が3~26%未満
- Zランク : 30年以内の地震発生確率が3%未満
- Xランク : 地震発生確率が不明 (すぐに地震が起こることが否定できない)

30年以内の地震発生確率が26%、3%であることは、それぞれ大まかには、約100年、約1000年に1回程度であることを示します。

【千島海溝の17世紀型の地震例】

17世紀: 十勝沖から根室沖

千島海溝の17世紀型
M8.8程度以上 Sランク

北海道北西沖
M7.8程度 Zランク

根室沖から
色丹島沖及び択捉島沖
M8程度 Sランク

十勝沖
M8程度 Aランク

【千島海溝の過去の地震例】

1843年: 根室沖
1894年: 根室沖
1952年: 十勝沖
1973年: 根室沖
2003年: 十勝沖

三陸沖
M7~M8程度 Sランク

宮城県沖
M7.0~M7.6程度 Sランク

福島県沖から茨城県沖
M6.7~M7.6程度 Sランク

三陸沖北部から房総沖の
海溝寄り
M8~M9程度 Sランク

東北地方太平洋沖型
M8~M9程度 Zランク

【東北地方太平洋沖型の過去の地震例】

2011年: 東北地方太平洋沖地震

相模トラフ(M8程度)
M7.9~8.6程度 Aランク

その他の南関東の地震
M6.7~7.3程度 Sランク

【相模トラフM8程度の過去の地震例】

1293年: 永仁地震
1703年: 元禄地震
1923年: 大正地震

【その他の南関東の過去の地震例】

18世紀終わりから現在までに9回

青森県西方沖から北海道西方沖
M7.5~M7.8程度 Zランク

秋田県沖から佐渡島北方沖
M7.5~M7.8程度 Aランク

新潟県北部沖から山形県沖
M7.5~M7.7程度 Zランク

南海トラフ
M8~M9程度 Sランク

【南海トラフの過去の地震例】

1361年: 正平東海地震
1361年: 正平南海地震
1498年: 明応地震
1605年: 慶長地震
1707年: 宝永地震
1854年: 安政東海地震
1854年: 安政南海地震
1944年: 昭和東南海地震
1946年: 昭和南海地震

○ ランク分けに関わらず、日本ではどの場所においても、地震による強い揺れに見舞われるおそれがあります。